

2024年（令和6年）4月～

現時点での構想であり、今後、変更があり得ます。
コース名等は全て仮称です。

令和4年8月10日

「生まれ変わる 山梨大学工学部」

新たな社会に貢献できる工学系人材を育成

- ⇒ 「SDGs」  : 持続可能な社会
カーボンニュートラルのためのエネルギー問題への取り組みなど
- 「地方創生」 : 地方のポテンシャルを引き出し継続的な営みができる社会
- 「Society5.0」 : IoTやビッグデータ、人工知能等の技術革新による新たな社会

新体制

- 7学科を **1学科複数コース** に再編
 - ・ 分野間の垣根を低くし、**進路選択が柔軟**となるよう変更
 - ・ 新コースの設置により進路選択の幅が拡大
- **クリーンエネルギー化学コース** を新設
 - ・ 化学の力で**エネルギー問題を解決できる人材**を育成
 - ・ 山梨大学が有するクリーンエネルギー分野における国内有数の研究実績（燃料電池やエネルギー変換など）を活用し、新たなコースを設置
- **総合工学クラス** を新設
 - ・ **入学後に進む分野を決定したい、進みたい分野があるが入学後に適性を見極めたい、幅広い工学の知識や技術を学んでから専門の分野に進みたい、というニーズに対応したクラスを設置（出願時に「総合工学枠」を選択）**
 - ・ **総合工学クラス出身の学生が最優先で履修可能なプログラムを実施（文理融合教育やアントレプレナー（起業家）シップ教育なども検討）**



新入試



- **一括入試の導入による募集人員の弾力化**
 - ・ 成績上位者からコース希望を勘案して合格者を決定
 - ・ 総定員（365人）の枠内で各コースの募集人員をニーズ等を踏まえて弾力的に設定
- **学校推薦型選抜Ⅰの導入**
 - ・ 調査書・推薦書・小論文・面接等で総合的に評価（**大学入学共通テストは課さない**）
- **大学入学共通テストで「生物」が選択可能**
 - ・ **総合型選抜Ⅱ、一般選抜（前期・後期）において、全てのコース等で「生物」が選択可能に**

新教育



- **工学基礎教育・デジタル教育の強化**
 - ・ コース・学部の枠を超えた、幅広い専門性を有する教員による授業を実施
 - ・ **数理・データサイエンス・AI科目の充実化**
- **1年次はクラスに所属、2年次から専門分野ごとのコースに所属**
 - ・ 年次が進むにつれて専門を細分化
- **転コース制度等による進路選択の柔軟化**
 - ・ 2年次のコース配属時に条件を満たせば**他コースへの変更が可能**、3年次進級時にも転コースが可能
- **特別教育プログラム（特P）の実施**
 - ・ 希望者は3年次進級時に専門性の高い特Pを履修可能（**大学院修士課程までの一貫教育**）

※前回(R4.4.18)の公表内容からの主な変更箇所を黄色マーカーで示しています。

○ 工学部の再編イメージ

現時点での構想であり、今後、変更があり得ます。
コース名等は全て仮称です。

現・工学部

工学部(7学科) [365]

応用化学科 [55]

先端材料理工学科 [35]

土木環境工学科 [55]

コンピュータ理工学科 [55]

機械工学科 [55]

メカトロニクス工学科 [55]

電気電子工学科 [55]

工
学
科

1年次

化学系クラス
【70人程度】

土木環境系クラス
【50人程度】

総合工学クラス
【40人程度】

情報系クラス
【65人程度】

機械電気系クラス
【150人程度】

新・工学部

工学部(1学科) [365]

Point

本学の強み・
カーボンニュートラル
推進

2年次～

クリーンエネルギー化学コース【40人程度】

応用化学コース【40人程度】

土木環境工学コース【60人程度】

コンピュータ理工学コース【75人程度】

機械工学コース【55人程度】

メカトロニクスコース【55人程度】

電気電子工学コース【55人程度】

Point

- 多様な進学ニーズに対応
- 総合工学クラス出身者が最優先で履修可能なプログラムを実施

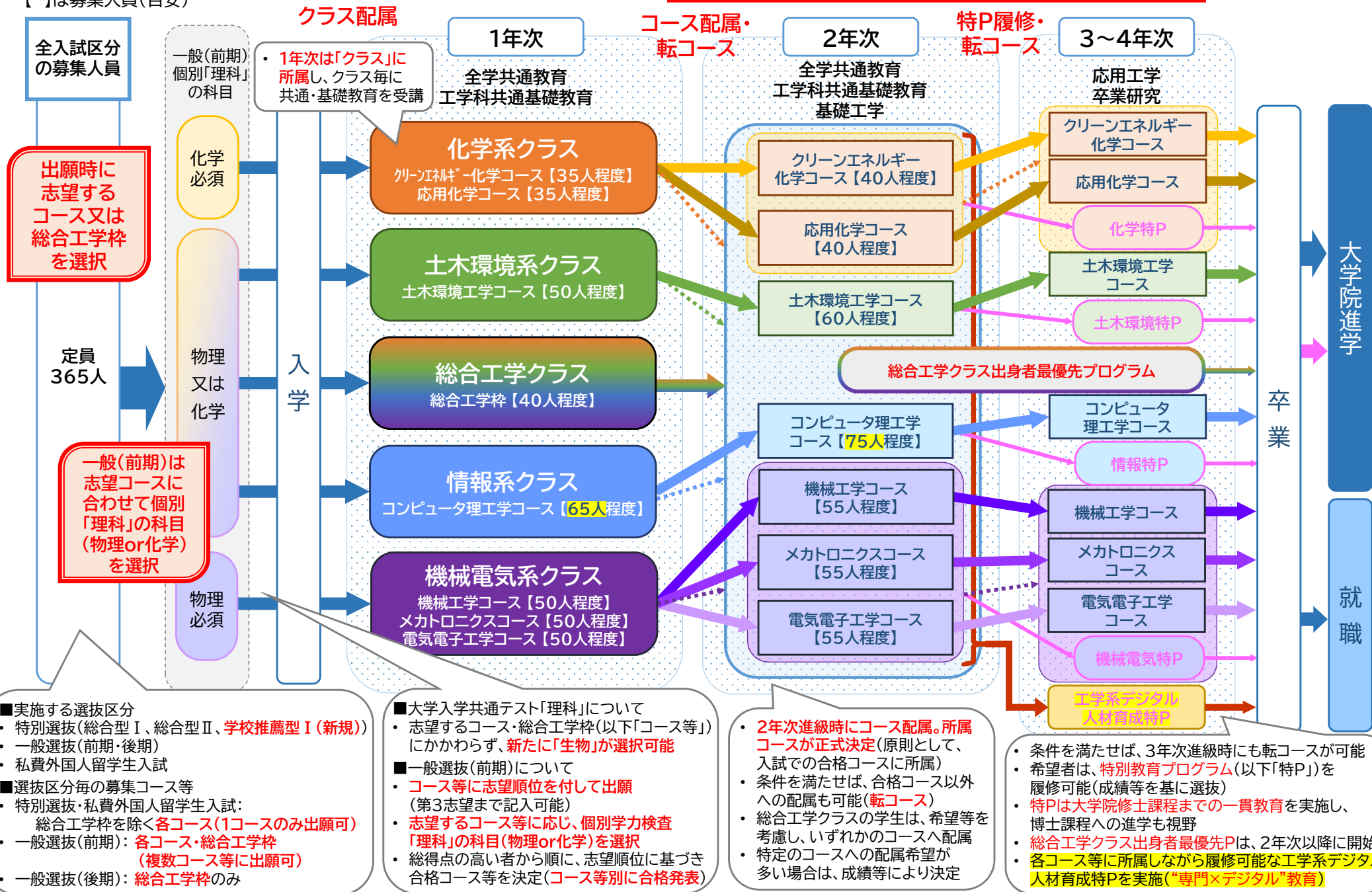
- 「クラス」で基礎を学び、「コース」で専門を学ぶ
- 年次が進むにつれて専門を細分化

[]は入学定員
【 】は募集人員(目安)

○ 新・工学部 学生の所属先をベースとした流れ

現時点での構想であり、今後、変更があり得ます。
コース名等は全て仮称です。

【 】は募集人員(目安)



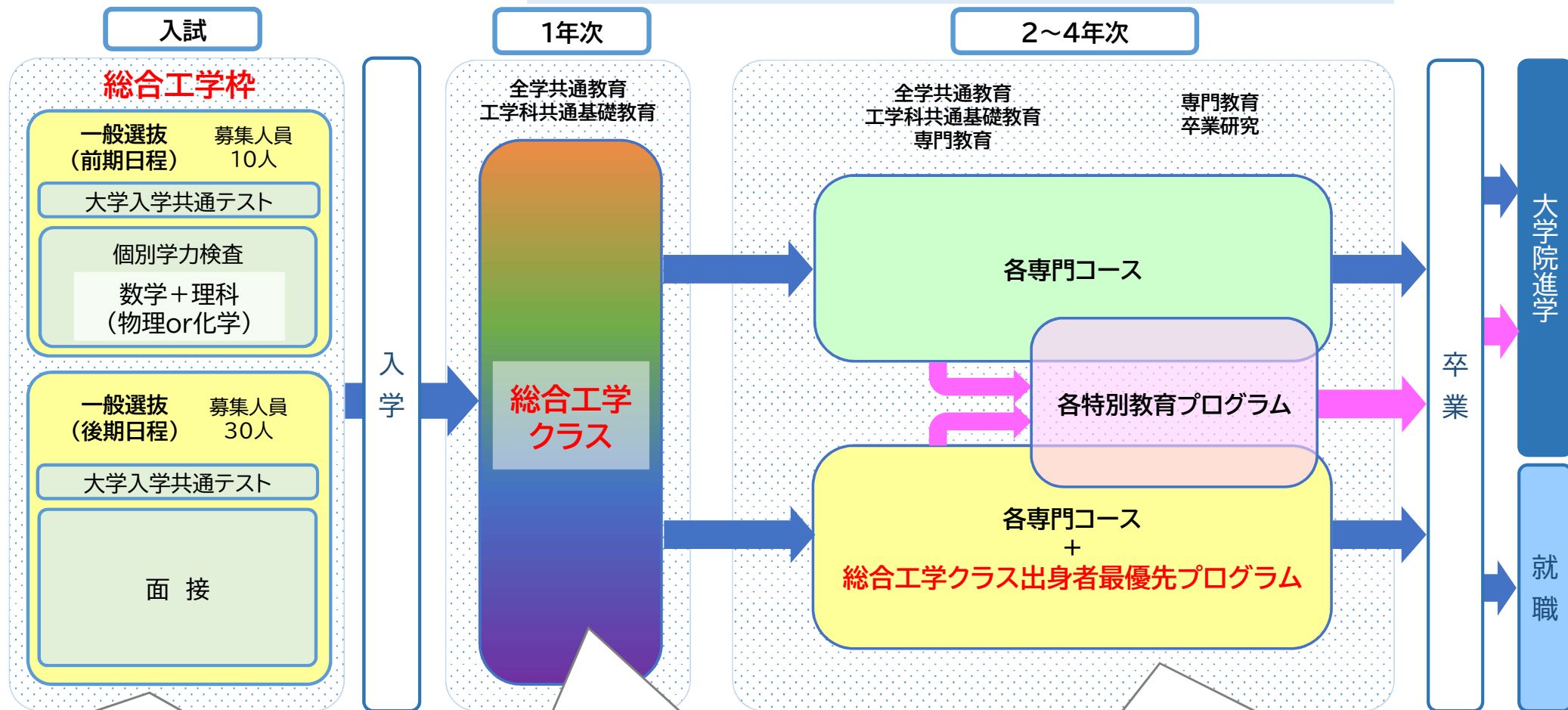
○ 総合工学クラスについて

現時点での構想であり、
今後、変更があり得ます。

以下のような受験生に適したクラスです。

志望する方は、出願時に「総合工学卒」を選択してください(一般選抜のみの募集です)。

- ① 複数の専門分野に興味があり、学ぶ中でじっくりと適性や進路を見極めたい受験生
- ② 工学全般に興味があり、入学後に専門分野を決めたい受験生
- ③ より多くの基礎科目をしっかりと学んだうえで、専門分野に進みたい受験生



- 一般選抜のみで募集
- 前期では出願時に第1志望のみならず、第2・第3希望としても総合工学卒を記入可能
- 大学入学共通テストに加え、前期は個別学力検査、後期は面接を実施
- 前期の個別学力検査「理科」では、物理又は化学のいずれかを選択

- 1年次は総合工学クラスに配属
- 特色ある魅力的なカリキュラムを設定し、1年次のうちにじっくりと適性や専門を見極め、2年次以降のコースに円滑に合流できるシステム
- 例えば、入試で化学を選択していない場合でも、化学系カリキュラムを履修することにより、2年次に化学系のコース(クリーンエネルギー化学、応用化学)を選択可能。物理も同様

- 2年次以降は各専門コースに配属
- 専門コースに所属しつつ、総合工学クラス出身者が最優先で履修できる教育プログラム(2~4年次)を設定。同プログラムは、大学院との接続も視野
- 総合工学クラス出身者最優先プログラムでは、文理融合教育、アントレプレナー(起業家)シップ教育などを検討中
- 総合工学クラス出身者最優先プログラムを履修しつつ、特別教育プログラムも履修可能